

令和2年度 豊中市総合計画審議会第一部会 第1回会議 議事要旨

- 日時 令和2年(2020年)10月2日(金)18時～19時45分
場所 ZOOMによるWEB会議(事務局は第二庁舎3階大会議室)
出席者 久部会長、大野委員、宗前委員、濱元委員、佐佐木委員
計5名
事務局 都市経営部経営計画課：寺田、坂本、田中、島、上田
傍聴者 なし
案件 1. 前回の振り返り
2. 2020年度(2019年度実施分)政策評価結果について
3. その他
資料 【資料1】2020年度(2019年度実施分)政策評価結果
【資料2】令和2年度第1回豊中市総合計画審議会 議事要旨
【参考1】第4次豊中市総合計画(本編)
【参考2】第4次豊中市総合計画(概要版)

会議録 下記のとおり

記

●開会

●成立要件の確認

事務局：

「豊中市総合計画審議会規則」では成立要件として委員の過半数の出席を必要としております。本日は委員総数5名中、5名の委員にご出席いただいておりますので、成立要件を満たしております。

本日、傍聴者は0名です

●資料の確認

(事務局より配布資料について説明)

●案件1「前回の振り返り」

部会長

「前回の振り返り」について事務局からお願いします。

事務局

(事務局より資料2に基づき、前回の振り返りについての説明)

部会長

ただいまの説明について、ご質問・ご意見はございませんか。

それでは、案件2「2020年度(2019年度実施分)政策評価結果について」事務局から説明してください。

●案件2「2020年度(2019年度実施分)政策評価結果について」

(事務局より次第に基づき、政策評価結果のシートを見る時のポイント及び本日の部会の進め方についての説明)

部会長

それではさっそくシートを見ていきます。

(第1章-1「子育て支援の充実」シート(P15)について)

委員

総合評価の理由の2つ目の○で「待機児童について3年連続でゼロを達成しました」とありますが、市が行っている市民意識調査では保育所等への意見が様々ありますし、国の定義に当てはまらない待機児童がいると市のホームページで見ましたが、このような意見については書かれていません。

部会長

今仰っていただいた意見につきましては、こども未来部が所管する会議で、施策の評価がされると思います。すべての項目でこのような細かいことを見ていくと、この部会の負担もかなり大きくなります。ですので、総合計画審議会としては、施策の具体的内容まで踏み込むのではなく、PDCAがまわっているかのチェックをすることが役割であると行政評価指針でも示されています。

委員

待機児童が3年連続ゼロになっていると施策シートには書いていますが、国の定義に当てはまらない待機児童は321人います。そのことは課題として書いてほしいということが私の意見です。

部会長

この施策シートを読んでいると、ほとんどがDoになっています。Doに対する成果・課題が薄いように感じますので、成果・課題を書くように担当課に伝えていただきたいと思います。また施策名の下段に書いてある内容を評価してほしいと思います。これは他の施策シートでも同様です。現在の書き方は、施策の方向性シートの評価を順番にもう一度施策シートにまとめている印象があります。そうではなく、施策シートの施策名の下段にある内容をもとに書く方が、施策レベル

の評価になるのではないかと思います。そうするともっとコンパクトに総合評価の理由を書けるとと思います。私は施策名の下の部分の「地域のなかで、まわりの人々に支えられ」というところがこの施策では重要だと思しますので、ここがどうなっているかを知りたいです。また第1章の施策シートの総合評価の理由の最後の2文が同じような書きぶりになっています。しかしPDCAサイクルの観点では、例えば1-1のシートでは、「多様な取組みを展開していく」とありますが、具体的にどんな取組みの展開を考えているとか、こういう課題が残っているのでこんな展開を考えているというように書いていただくとよりわかりやすいシートになると思います。またこの施策シートは市民の意識が少しだけ下がっています。そのことに対するコメントも書いてほしいと思います。

では次のシートに移ります。

(第1章-2「保育・教育の充実」シート(P16)について)

委員

2点あります。1点目は、2つ目の○で「庄内さくら学園の実施設計を行いました。また、外国人英語指導助手派遣事業の派遣期間延長や各小学校へタブレット端末を追加配備等を実施しました。」とありますが、また以降の部分は豊中市全域に関することとして受け取ってよろしいでしょうか。

事務局

大丈夫です。

委員

そうであるならば、前後で庄内さくら学園の話をしているので、この部分も庄内さくら学園のことだけだと誤解される可能性があると思いますので、主語は正確に書いた方がいいと思います。また3つ目の○は、新しく何かをするというよりはすでに行っていることの記述だと思います。これだと何が成果ポイントか見えにくいと思います。またコミュニティスクール以降の文はこれからのことなので、ここに書いているのはどうかと思いました。

部会長

毎年度行っている事業をあえて成果として記述する必要はないのではないかとご意見です。

委員

前回の資料でいただいた昨年度の意見集のP6の3番に「総合計画のP47の主な取組みの「③共に学ぶ教育の推進」は、全国の中でも先進的な取組みであり、豊中市の教育の大きな特徴なので、アピールポイントとして評価シートに書くべきである。」とありますが、この意見集の内容が今年度のシートに反映されていないと思いますが、これでいいのでしょうか。

部会長

意見集の取扱いについて、事務局から説明をお願いします。

事務局

昨年度の意見集につきましては、担当課にフィードバックをさせていただき、意見集を参考にしながらシートを作成することをお願いしておりますが、今年度反映できていないのが現状です。

部会長

全国一律で行っているような取組みを書くよりも、先ほどの委員が仰ったような他市に誇れるような取組みを書いた方がいいのではないかと、というコメントを今年度の意見集に書いていただければと思います。

先ほど委員からご指摘があった庄内さくら学園についてですが、これから進めていくので課題のような書き方になっていますが、完成するまではできていないことが当たり前ですので、評価をするのであれば計画から完成までに各年度で順調に進んでいるかを評価してほしいと思います。つまり完成しなくても計画通りに進んでいるのであれば、課題ではないですので、そのあたりの書きぶりに注意していただきたいと思います。また先ほどのシートとも被りますが、施策名の下に3行が重要で、「発達段階に応じた連続性のある保育・教育を充実し」とありますが、連続性のある保育・教育が充実したのかを書いてほしいですが、総合評価の理由からは読み取れません。さらに「人とつながり、未来を切り拓く力が育まれるよう取り組みます」が、人とつながり、未来を切り拓く力が育まれているのかが、書かれていません。つまり、施策の方向性から積み上げるのではなく、施策名の下部分を評価するようにすると施策シートと施策の方向性シートの書きぶりにメリハリがついてくると思います。例えば和泉市では、地域の中にある幼稚園・保育園・小学校・中学校の先生方が集まって年に数回意見交換会を行っています。その中で、切れ目のない連続性のある保育・教育が実現に向かっていきます。このような取組みを豊中市でも行っているのであれば記述してほしいと思いますし、行っていないのであれば課題として書いてほしいと思います。

事務局

本市でも幼保小で連携して、指導者が集まるケース会議等を実施しています。また障害児保育等もあわせて幼稚園・保育所から小学校へ引継ぎができる仕組みになっており、豊中市の特徴となっています。特徴的な事柄については具体的に評価シートに記載するよう担当課に伝えます。

部会長

先ほども申しましたが、「やっている」ではなく、「どのように成果があったか、課題としてどういうところが残っているか」という観点で書いていただくと、連続性があるという部分の評価ができていないと判断できると思います。

委員

先ほど委員からご指摘いただいた、昨年の意見集のP6の部分ですが、「書くべきである」と書きぶりが強くなっていますが、発言の趣旨としては「政策評価は市民と行政の一種のコミュニケーションのツールですので、せっかくなにかをされているなら書いてはどうですか。」というニュアンスでした。しかし審議会としてご指摘した点については、反映していただいた方がいいよう

に思います。

委員

前回の振り返りの部分で事務局から指標について、必ずしも成果と合致するものではないと説明がありました。そのうえで該当する施策の方向性シートを見ていますと、P39になりますが、成果の内容と指標が合致していないように感じます。今回で言えば、施策シートの総合評価の理由を読んでわかりにくかったので、施策の方向性シートを見に行ったのですが、P39のシートは細かく羅列されていますので、少し整理が必要ではないかと思います。取り組んだことすべてを書くのではなく、整理していただくことでこのシートの評価が見やすくなると思いました。

部会長

おそらく Do を書こうとするので、このような傾向になるのだと思います。Check を書いて、それを根拠づけるために書くようにするとわかりやすい文章になると思います。

委員

先ほどの委員と同様で、施策の方向性シートの成果の部分と施策シートの総合評価の理由の部分がうまくつながっていないように感じました。

部会長

それでは次のシートに移ります。

(第1章-3「子ども・若者支援の充実」シート(P17)について)

部会長

全体を通して、抽象度が高い書きぶりだと感じました。例えば1つ目の○の3行目に課題として「効果的な実施方法の検討等を行います」とありますが、これは逆に言えば、今は効果が出ていない部分があるということになります。しかし、それがどこなのかがわかりません。失礼な言い方かもしれませんが、筆が滑っている感じで、書いているけど内容が伝わってきません。2つ目の○の3行目でも「関係機関との連携の強化を図ります」とありますが、今連携がどこまでできていて、何が足りないのか、何を強化するという書きぶりが必要なところです。3つ目の○の2行目に「効果的かつ円滑に支援を行いました」とありますが、効果的かつ円滑と言える根拠は何なのかが書いていません。○○的とか形容詞は多いですが、内容がわからない書きぶりになっているので、そのあたりを精査していただくとわかりやすい文章になると思います。

委員

P41の施策の方向性の部分ですが、成果の3つ目の○の寄り添い型学習支援事業について、「学習者25人中21人が希望通りの高校に進学を果たす」とありますが、残り4人はどうなったのかが気になりましたので、そのことにもどこかで触れてほしいように思いました。またP43の成果の2つ目の○で、ひきこもり対策強化事業とありますが、この事業の対象者がわかっているのであれば、人数を書いていただくと具体的でわかりやすいと思います。

委員

ひきこもり対策強化事業の必要な対象者数ということでしょうか。

委員

そうです。

部会長

つまり、ひきこもりをされている方の人数ということですね。

委員

そのとおりです。

部会長

それはなかなか難しいと思います。

委員

しかし、市が対策事業をしているのであれば、何らかの形で把握していると思います。

部会長

これは調査をしたとしても実態がわからないでしょうし、なかなか難しいのではないかと私は思います。

次の基本計画を作るときのお願いになりますが、P17の施策名の下の3行に将来の方向性が書かれていて、すごくいいことを書いていますが、理念的な内容なので評価をすることが大変だと思いました。今後は評価しやすいように将来像に具体性をもたせて書いた方がいいと思います。今の書きぶりもいいと思いますが、「希望に満ちた明るい社会を展望しながら」と言われて、なんとなくはわかりますが、具体的にどういうことですかと聞かれると抽象度が高くて困ってしまうと思います。ですので、もう少し評価を見据えた書きぶりを次の後期基本計画ではお願いしたいと思います。例えば、大学でもディプロマ・ポリシーを書く時に「国際性豊かな人間を育てます」と書きますが、それをどうやって評価するのかと聞かれると困ってしまいます。これと同様に計画を作成する段階から評価を意識した書きぶりにしていただきたいと思います。

委員

評価を意識して書くということは、結果の状態、つまりどういう状態になったらうまくPDCAがまわっているかとか、PDCAがおおよそうまくまわっているが課題もあるというようなイメージをもっていたら良いと思います。先ほどの事例でいうと「国際性豊かな」という書きぶりが、例えば外国に行くことや外国で就職することをためらわない人が4割ぐらい出てきたら国際性豊かだと判断できるというような形で言い換えることができることが大事だと思います。その評価が妥当かどうかを審議会でメタ評価していくことになります。抽象的な書きぶりでも、踏み込んで聞かれた場合に、実はこういうふうに考えていますと答えられるのが大事で、もし答えられるようなことを想定されているのであれば評価の書きぶりにも表れてくると思いますので、そ

のあたりに気をつけていただきたいと思います。書く欄が少なく大変だとは思いますが、抽象度が高く突っ込まれたときに具体的なイメージを答えられるようになっていければいいと思います。

部会長

それでは次のシートに移ります。

(第2章-1「自立生活支援の充実」シート(P18)について)

部会長

昨年度も指摘しましたが、福祉の分野はまとまりすぎていて、書きづらい評価シートになっていると思います。とすれば、先ほどから申し上げているように、施策名の下2行をどのように評価するのかの観点で書いていただきたいと思います。今のシートは分野別福祉で評価していますが、ここは「個々のもつ力を活かし支えあいながら、住み慣れた地域で、自立して暮らせる環境づくりに取り組みます」とありますので、すべての人がまずは自分の力を活かしながら、さらに地域で支えながら暮らしていける環境づくりをするということですので、個別の分野の評価ではなく、それがトータルでみたときに取りこぼしている点はないのかというような評価が必要だと思います。また、施策の方向性シートの進捗状況の評価で、上の3つが「B」で下の2つが「A」からもわかるように、制度・仕組みは一定できているが運用でまだまだ課題が残っているという評価だと私は思いました。特に地域の中での支えあいのネットワークやコミュニティづくりに大きな課題が残っているのではないかという印象を受けました。そういうことがざっくり見れば、見えていると思いますので、そこを総合評価の理由で端的に書いていただくとわかりやすい評価になっていくと思います。

委員

私は福祉部の会議にも参加していますが、その観点から申しますと、豊中市は住み慣れた地域で暮らすという地域福祉では、非常に特色がある取組をされていると思います。もちろん地域のすべての人に対して100%対応していくというのは難しいので、100%は目指せませんが、かなりのことはできていると思います。しかしこの評価を見たときに、今年度目標としていたことはどこなのかという部分が見えにくいです。他の地域と比べる必要はありませんが、比べてみるとかなりのことをしていることがわかりますので、もう少しいい評価をできる場所があると思いますし、目標を見直されてもいいのかと思いました。いつも「頑張りましたが、まだ上を目指していきます」という書きぶりになっているので、ずっとB評価から抜け出せないように感じます。

部会長

先ほどの委員の仰るとおりかと思います。豊中市は、市と社会福祉協議会がタイアップしながら地域の福祉コミュニティづくりを行っています。これは全国の先進事例として紹介されるぐらいの取組みです。さらに小学校区では最先端のことをいろいろされているので、そういう意味では自信をもってこの部分の評価をしていただけたらと思います。

それでは次のシートに移ります。

(第2章-2「保健・医療の充実」シート(P19)について)

委員

このシートも細々とした書きぶりになっていると思います。先ほどから他の委員が言われているようにDoを書くことこのようになってしまうと思います。このシートは心身の健康と生活衛生と地域医療の3つの柱から構成されています。これらが狙った方向に向かっているのか、あるいは進捗の途中で完成はしていないが予定通りに進んでいて特に不安を感じていないと担当者が判断しているのであれば、本来はA評価をつけていいと思います。1年でいきなりゼロを100にすることはできませんので、そのような無理を言わないために評価シートを設けているわけです。そこが書きぶりとして気になりました。3つ目の○の地域医療の充実を図るという部分では、地域医療は面的な医療供給状態であったり、あるいはそこにいる人々の健康状態であったりをさす概念ですが、シートに書いてあることは、豊中市は市立病院をもっていますので、市立病院を中心としてその周辺との病院との連携を作っていくという話になっています。そうであるならば、軽症だといきなり大きい病院には来ないだとか、紹介率が上がっていて、まずは近所の掛かり付けの病院に行ってから大きい病院に行くという流れがちゃんとできているから密なキャッチネットが張ってあることが本来は評価されるべき状態だと思います。ですので、病院があつて、そこがうまく動いていて連携も働きかけていますというのは手段であり、P51の方向性シートのA評価の根拠としてはあまり適切ではないように思います。

委員

P19の総合評価の理由のところですが、2つ目の○で感染症対策のことが書かれていますが、新型コロナウイルス感染症のことが一切出てきません。次年度でもいいのですが、話題としてきちんと記述してほしいと思います。

部会長

2019年度実施分としての評価ですので、なかなか難しい部分もあるかと思います。しかし2020年に向けての話として触れることも検討していただきたいというご意見でした。

私が読んだ印象としては、このシートもDoが多く、成果と課題がわかりにくいと思いました。もっと成果と課題を表面に出していただきたいと思います。加えて全体的に冗長で難解な文章が多いと思います。特に保健医療は他の市でも同様の傾向がありますが、専門職の方がそれぞれの分野におられますので、文章を書くとき専門用語が並んだり、難解な文章になったりする傾向がありますので、もう少し市民にわかりやすい表現に変えていただきたいと思います。例えば、メンタルヘルスリテラシーと言っても専門家はわかりますが、市民にはなじみのない言葉です。ですので、一般的に使っているような言葉で置き換える、あるいはカッコ書きで補足するといった工夫が必要だと感じました。また総合評価の理由の最後の一文で「さらなる効率的・効果的な取り組みが必要」とありますが、この効率的・効果的という言葉は非常に便利な言葉だと思いますが、今効率的・効果的になっていない部分はどこなのか、またそれをどのように効率的・効果的にもっていきたいのかということ意識しながら、上の文章を書いていただくとよりわかりやすくな

ると思います。その他、施策名の下の3行で言いますと、「保健・医療体制の質の向上に取り組みます」とありますが、一体どういうことを目指しているのかを総合評価の理由にもきちんと反映してほしいと思います。具体的に質が上がったかどうかを評価しているはずですので、そこがわかりやすい表現・評価になればいいと思います。

委員

昨年度も申し上げましたが、保健医療の分野は、結果からみて過程を評価する手法が確立している分野だと思いますので、部会長が仰ったことは担当者も言われればなるほどと思っていただけるはずですが、この分野は評価にもなじみやすいので、シートの優等生をめざしてほしいと期待しています。また先ほど委員が指摘したようなコロナに関することは2019年度実施分には載りにくいことですが、豊中市は保健所がありますので、来年度の評価に関していうと、コロナの影響で保健所はかなりひっ迫したと思われる。これはP51の「地域医療の充実を図ります」と連動しますので、例えば、医療提供体制の維持とコロナの患者が大量に集中したりしないように割り振りをしたりと保健所はかなり疲弊したと想定されます。そこをどのように乗り切ろうとしたのか、あるいは乗り切れなくて残した課題は何なのかはぜひ書いてほしいと思います。これは次年度の評価に書いていただきたいのであらかじめ申し上げておきます。

部会長

保健所と市民病院を両方もっているの、保健の専門家、医療の専門家が市のレベルで連携が取れるはずですので、そこがどうだったのか、そこで課題が残ったのであれば何を充実させていく必要があるのかということが書かれれば、豊中市らしい保健医療の評価になるように思います。

委員

P49のシートの指標の2つ目ですが、昨年度に比べ実績値がかなり下がっています。しかし、このことについて成果や問題点の部分で記載がありません。ここまで大幅に数値が下がったのであれば、その背景と課題・問題点を記述するべきだと思います。

委員

P19の1つ目の○で「メンタルヘルス計画に基づく推進会議のもと」とありますが、話し合ったことはわかりますが、これによってどんな成果があったのかは具体性に欠けると思いました。また全体を通して、「今後は」「今後も」という表現が多いように感じますので、もう少しすっきりまとめていただきたいと思いました。

部会長

今の委員のご指摘を補足させていただきますと、「取り組みました」はDoで、「今後は」というのは今後の展開でActionです。つまりcheckがなく、今後の展開になっているので、ご指摘のような印象を与えていると思いますので、取り組んだ成果がこうだったから今後こうしますとすると、よりわかりやすくなると思います。

それでは次のシートに移ります。

(第2章-3「消防・救急救命体制の充実」シート(P20)について)

部会長

ここは内容がとてもシンプルで、昨年度も申しましたが、書きやすくわかりやすいところだと思います。

それでは次のシートに移ります。

(第2章-4「暮らしの安全対策の充実」シート(P21)について)

部会長

ここはA評価をつけていますが、少し疑問に思います。施策名の下の部分では「自ら守る、地域で守るという意識の醸成を図ります」とありますが、施策の方向性の進捗状況では、防災力の充実強化がBで、総合評価の理由の1つ目の○の2行目に「地域の方々の防災力向上に繋がりました」とありますが、おそらく元々意識が高い方を対象とした意識向上は図られていると思います。しかし、より多くの市民まで到達できているのかまでわかりません。本来であれば、より多くの市民に自ら守る、地域で守るという意識の醸成をしたことが書かれてこそ、目標に到達するということだと思いますので、そこまで浸透しているのかと考えたときに疑問を感じますので、A評価はどうかと個人的には思います。

委員

このシートで言いますと、何が増加して、何が減少したかが具体的に書かれているので、評価の記述方法としてはわかりやすいと思いました。

部会長

それでは次のシートに移ります。

(第5章-1「情報共有・参画・協働に基づくまちづくり」シート(P30)について)

部会長

私から3点あります。1点目は、総合評価の理由の1つ目の○で「SNSにおいて新たにInstagramとLINEを開始し」とありますが、現時点で見えている成果を知りたいと思います。例えば、「InstagramとLINEを使ったことで、新しくこういう方々の反応がありました」などの成果を知りたいのですが、シートからはその部分が読み取れません。ここをきちんと書いていただくことでcheckがまわっていくように思います。2点目は、4つ目の○で「新たに地域自治組織が1組織設立されました」とありますが、新しく設立されることは非常にいいことだと思います。しかし私自身地域組織を応援している身としては、できた後のフォローアップまで書いてほしいと思います。設立された後、円滑に運営できているかどうか、組織ができたことで地域活動の質向上が図れたのかどうかというところまで市役所が責任をもって一緒に追いかけてほしいと思いますのが、そのあたりの評価は書かれていないと思います。3点目は、最後の文章で、「今後さらなる充実の必要があるため」とありますが、具体的に何が充実したらいいのかが書か

れていません。いくつか例示があれば、読み手側も担当課が考えている充実の内容がわかるので、次年度は書いていただきたいと思います。

委員

P79 のシートに指標が 3 つありますが、ここに情報公開の請求件数の指標を入れていただきたいと思います。市民が直接市政に関与できる制度ですので、指標として入れることを検討してほしいと思います。

委員

P80 のシートで、指標 4「市民公益活動推進助成金の申込件数」や指標 5「市民活動情報サロン利用者数」の件数がともに減少しています。この部分がうまく進んでいないような印象を受けますので、課題として書いていただけたらと思います。

部会長

それでは次のシートに移ります。

(第 5 章-2「持続可能な行財政運営の推進」シート (P31) について)

委員

施策の方向性の進捗状況を見ると、4 つのうち 3 つが B 評価ですが、総合評価が A 評価になっています。なぜ A 評価になるのか疑問に感じます。また P84 のシートの成果の 3 つ目の○で「住み続けたいと感じる市民の割合は目標を達成する結果となっています」とありますが、これに関連する数値がどこにもありません。ブランド戦略をみると、85.0%という数値がありますので、これを指標に入れてもいいように思います。ちなみに私個人としては 85.0%という目標は低いのではないかと感じています。

部会長

今の委員からご指摘いただいた 1 つ目のご意見については、この 4 つの進捗状況を平均して総合評価にする必要はなく、B 評価が 3 つで A 評価が 1 つでも部会のメンバーが納得できるのであれば A 評価をつけていただいてもいいと思います。しかし、私も総合評価の理由を読んだときに、なぜ A 評価なのかが読み取れませんでしたので、少し説得力が弱いのかと思いました。

事務局

1 つ目の○で持続可能な行財政運営を推進する観点で、まず 2 行目で「都市経営の視点で行財政運営の基盤強化の取組みや未来を見据えた重点投資など戦略的に都市経営を進めるために経営戦略方針を策定しました」という大きな柱を記述しています。その経営戦略方針に基づき、2 つ目と 3 つ目の○で、財政面での中期財政計画の策定と人材育成面での人材戦略の策定を記述しています。つまり経営戦略方針という大きな柱のもと、財務と人材という面の今後の道筋を立てるような戦略を作ることができたという点で P D C A サイクルをまわす土台ができたことから A 評価としています。

部会長

しかしながら、それは仕組みづくりです。今後それに関して、どのような成果を出していくのが文章としてほしい部分です。

事務局

そういう意味では、まだ戦略を作りましたというところまでしか書いていません。

部会長

そこが書けてくるとそれぞれの施策の方向性シートの評価もA評価が増えてくるのかと思います。そうすると全体もA評価だと納得できると思います。今の時点では、先ほどの委員も私も、仕組みは作ったけれども、これから頑張らないといけない印象を受けたので、A評価に疑問をもったと思います。

委員

市役所はどうしても予算編成を行う財政部門の力が大きくなりがちです。お金の使い方に非常にタイトな戦略をもっていて、その戦略ができてしまうとその期間はその計画に縛られてしまうので、よほどのことがない限り、逸脱することはないという心象風景が職員にはあるかもしれません。むしろ私は後半の人材育成の部分で、人事戦略が気になります。例えば、従来の典型的な公務員試験を止めて、その結果、民間企業に行ってもおかしくないような人を採用できました、あるいは志願してきましたということが出てきて初めてCとAがまわっていると判断できると思います。今の計画を立てた段階ではまだPDの段階ですので、評価がうまくまわりましたというのは難しいように感じます。作った職員の皆さんの意識として整ったという意識があるのもわからないわけではありませんが、一度CAがまわってからの方がいいと思います。

部会長

例えば生駒市役所では、学生の頃から地域活動や社会活動に参加して成果を出している人材を採用したいということで、かなりすごい人材を採用できる仕組みづくりを行っていて、そのための採用の方針も明確になっています。豊中市でも、ぜひとも豊中市職員になりたいという学生がたくさん集まるような仕組みを作っていただき、それを何かで証明できると先ほどの委員のお話はクリアできると思います。

委員

加えて申しますと、現在全国では都道府県庁の職員採用で辞退率が高くなっています。広域転勤があるということで敬遠されているからでしょう。大阪府だとそこまで遠くないかもしれませんが、京都府や兵庫県では日本海側に行く可能性もありますので、市と県では市に行く、大都市より中小都市を選ぶ傾向があるように思います。その中で豊中市はかなりの潜在力をもっていて、人を惹き付けられる地理的な条件もありますし、規模としても程よく大きいです。そうすると学生だけでいいのか、中途採用も含めて、さらには評価シートの中で就業関係の整備を書いていますので、おそらく女性の採用を強く意識されていると思いますが、そのあたりを評価していくことも大事だと思いますし、現在もやっておられると思います。いわば転職組が当たり前になって

いくことはいいことで、市役所内で大学卒業後そのまま市役所に入った人と転職で入った人が入り混じって豊中市をよくしていくようなことを人材戦略に練りこむことでよりいい計画になると思います。

部会長

WEB マガジンのホルグで「Heroes of Local Government」という、いわゆるスーパー公務員を特集する企画の中で、毎年公務員アワードを開催しています。これは公務員が公務員を推薦して賞を授与する仕組みになっていて、生駒市はかなりの確率でそのアワードを取っています。全国的にも有名な公務員が出始めていることも1つの指標になると思います。豊中市でも、採用戦略で何かユニークなことをしているのであれば教えていただけないでしょうか。

事務局

人材戦略の面では、中途採用を含めて多様な人材を獲得するよう努めています。その一環として、今年度から従来の一般教養試験枠とは別に新たにSPI枠を設け、民間企業を中心に就職活動を行っている方にも受験しやすいような採用試験を行いました。

部会長

もっとインパクトがあることは行っていませんか。生駒市では10年ぐらい前からSPIを採用しています。

事務局

SPI枠を設けたことに加えて、今年度から受験資格の年齢の上限を10歳引き上げ、多様な方が受験できるようにしました。また採用後の研修につきましても、採用年数に応じた様々な研修を行っています。

部会長

生駒市では、30代・40代のNPO業界では名の知れた人が中途採用で採用されています。また吹田市でも最終の市長面接のときはスーツを着ずに、私服で面接に来ることにしています。それで、その人の人となりが見えるだろうというユニークな最終面接を行っています。採用試験だけでなく人材育成の面でもインパクトが出てくるとA評価になると思います。

私はいろんな市役所の方とお話させていただいていますが、豊中市の職員はスマートな印象を受けます。逆に言えばやんちゃな方が少ないということです。元気すぎて暴走するぐらいの人が何人かおられると市役所が活性化してくるのではないかと思います。

委員

先ほど病院の話も出ましたが、病院は市役所の中でも例外的にビジネスを行っている部門になります。水道なども公営企業で、病院の場合はお客様がいてサービスを提供する場で、提供に関わる医療者もプロフェSSIONALです。その中で市の行政職員がもまれていくことはいいことだと思います。言ってみれば、わざわざ民間企業と交流して出向する必要がないような体験ができる場です。私は医療の問題を研究しているものですから、医療の場を直営で所有していることは、

厳しくハードなネゴシエーションを知ることができる、一般の行政職員にとってはすごくいいところだと思います。

委員

P31の4つ目の○で「連携協定をファミリーマートと締結しました」とありますが、市民にとっては目を引く部分だと思いますが、何をしているのかが読み取れませんので、説明があるといいように思います。この文章は第1章-1(P15)のシートでも出てきています。

部会長

もし内容がわかれば、事務局教えていただけますか。

事務局

ファミリーマートとの連携は、子育て・子育て支援の充実に関する取組みに特化した連携協定となっています。連携内容としては子どもの見守り、安心・安全の確保、こども110番への登録などをしていただいております。またとよなか子育て応援団へ協力いただき、ミルクのお湯提供などをしていただいております。その他、ファミこども食堂として子どもの居場所・子育て世代の交流スペースの確保にご協力いただいたり、待機児童対策として保育所の整備時に物件情報の提供をいただいたりしています。

委員

そうすると、施策の方向性シートP85の「多角的な連携に取り組みます」の1つの証拠という趣旨でよろしいのでしょうか。一義的には第1章-1「子育て支援の充実」のための協定ですが、一方で第5章-2の観点から見るとこういう実例もありますという風に言いたいということを書かれているという認識でよろしいでしょうか。

事務局

そのとおりです。

部会長

P31の施策名の下での2行の部分で、「都市の価値を高めながら」とありますが、本文からシティプロモーションをしていることはわかりますが、どのように「都市の価値を高めながら」を評価しているのかが見えづらいと思います。ここがわかりやすく評価できることを期待しています。先日民間企業の調査で、尼崎市が住みたいまちのトップ5に入っていました。これまでの順位を考えると相当なイメージアップを図られた結果だと思います。このような結果があれば非常にわかりやすいと思います。豊中市は一定イメージが良いので、それをさらに高めるとなると様々な工夫が必要だと思います。

以上で、第一部会が担当するシートをすべて確認したことになりますが、今日確認したシート、あるいは全体を通してのコメントがありましたら、ご発言いただけたらと思います。

委員

私は今回初めて総合計画審議会の部会に参加しました。PDCAサイクルという言葉は聞いたことがあります。具体的にシートに落とし込んだものを見るのは初めてでしたので、少し戸惑いました。誤解しているかもしれませんが、PDCAがまわっていればオッケーということがイマイチわかりません。最初事務局から総合計画審議会の役割について説明がありましたが、一番大事なことは、総合計画に書かれている施策がどこまで実施されたのか、ゴールにどれだけ近づけたのか、それによって市民の暮らしがどう変わったのかがわからないとダメだと私は思います。その観点で申しますと、今回見たシートはとてもわかりにくいというのが私の印象です。またABCの3段階で評価をされていますが、具体性に欠けていてよくわかりません。私たち市民にとってわかりやすいことは「%」で表したり、図表やグラフで示すことかと思います。もちろんその裏付けとして、文章で書いたシートは必要だと思いますが、シートが基本になることは無理があるように感じました。また第1回の全体会で、スケジュールの説明がありました。政策評価結果をすでに8月末に公表されているとのことですが、基本的に評価結果を修正する場面がありません。前回の全体会と今回の部会でいろいろと意見が出ていますが、これらの意見を政策評価結果にどう反映させるのかもわかりません。市民のための政策評価とするためにも、市民の意見を聞く機会が必要ではないかと思います。行政評価指針のマネジメントサイクルに基づいてスケジュールを組まれているのだと思いますが、どこかで今申し上げたことに取り組んでもらいたいと思います。

部会長

後者のお話については、2つの観点で審議会の意見を活かせるのではないかと思います。まず1点目は、来年度の施策・事業に関して審議会のコメントを活かして取り組んでいくことができる点、もう1点は令和2年度の評価を次年度行いますが、評価シートを作成するときに審議会のコメントが活かされると思います。少し時期はずれるかもしれませんが、上記の2点で活かしているのではないかと思います。前半部分は私も同様に感じる部分はありますが、おそらく総合評価の理由の文章を読んだときに、市役所の仕事はイメージできますが、市民の暮らしや市民の顔が見える評価の理由になってくれば、もっとわかりやすくなっていくと思います。逆にグラフや表を入れれば入れるほど、市民の姿や市民の顔が見えにくくなっていくのではないかと思います。そういう意味ではエピソードや具体例を随所に組み込んでいくことで、読んでわかりやすくなるのではないかと思います。例えば、子育ての部分では、子育てに悩んでいる人にこういう風に寄り添っていくことで、こんな展開が図られたというように、人の顔、人の生活が見える形で評価の理由を書くことでよりわかりやすくなると思います。そのためには、あまり網羅的に書かない方がいいと思います。網羅的に書けば書くほど、抽象度の高い文章になってしまいます。先ほど委員からも病院をもっと書いていってもいいのではないかとご指摘をいただいたように、メリハリをつけて本当に強調したい部分だけを抜き出して書いていただくとわかりやすくなると思います。

委員

フォーマットが決まっているので、それを逸脱したことはできないと思います。しかし気持ちの中では、次のことを意識していただきたい。量的なデータは一目瞭然なのでたしかに大事ですが、それで書けないものもあります。その場合は、質的に表現にすることはしない方がいいと思います。例えば、生活保護の相談件数は表面化してきたという意味で最初は増えた方がいいですが、本来はない方がいいことなので、それらが抑制される仕組みが整ったので、ある段階からは件数が徐々に下がってきましたというストーリーが理想です。数字を出すにしてもストーリーで、「今どの段階にあるのか」、「今は増えていても大丈夫な段階です」、「今まさに市の施策が功を奏しているのに減っている段階です」というような、担当課の相場観をここに出していただければ、たとえ書いていることが難しい内容でも、市民はわかると思います。

部会長

生駒市でも評価をしています。シティプロモーション担当の課長とお話をしている中で、課長自身も評価について悩まれていました。生駒市はユニークな生活をしている市民の方を取り上げるホームページとして「good cycle ikoma」という市役所とは別に面白いホームページを作成されています。そこでは地域の元気な人たちを紹介していて、その人たちが増えているイメージがありますが、議会からの質問でその割合は何割かと言われて困ってしまったと仰っていました。シティプロモーションは平均像で見られると評価しづらい分野ですので、部署によって使い分けをしてほしいと思います。また生駒市では、市民アンケートを行っていますが、今年は工夫しています。市民全体の平均をとるだけではなく、ライフスタイルで層分けを行い、その層ごとに集計しようとしています。市民サービスを受取るタイプの方、自分たちでユニークな活動を展開されている方というような、層ごとにアンケート集計をしないと、平均しているとまだ市民サービスを受取るタイプの方が多いので、少数の部分は薄まってしまいます。豊中市でも気をつけていただきたいのは、平均的なものを見るとユニークさが見えてこないですが、ユニークな活動をしている市民も着実に増えていると思います。具体的には、豊中市の取組みとして最近メディアに取り上げられている中で、キッチンカーがあります。これは、かなりメディアでも取り上げられています。そういう意味ではメディアにとれだけ取り上げられたか、何が取り上げられたかを評価にも反映させてもいいように思います。メディアに取り上げられるということは、社会的にも注目されていて、さらにそれを見た方が注目するという相乗効果が出てきますので、このようなことも評価の理由として考えていただければと思います。

私の大学の広報室では、大学の教授のコメントが欲しい場合は、必ず広報室を通すシステムをとっています。なぜかと言うと近畿大学の先生がどれだけメディア露出するのかということで、社会的なイメージを高めていく戦略です。市役所もメディア戦略を取ってほしいと思いますし、それが社会的評価の一面を示していると思いますので、そこは検討してほしいと思います。そう意味では、先ほど委員からご指摘いただいた地域福祉の分野では、豊中市はいろんなメディアに取り上げられているはずですので、自信をもってアピールしてほしいと思います。

委員

学者の場合は、他者に引用されることが大事なのですが、それと同様に豊中市によく言及されること自体が、都市のイメージを上げていると思います。特にポジティブな点で引用されているのであれば、すごくいいことだと思います。先ほど部会長が仰っていた、スーパー公務員として取り上げられることも、同業者から見て先進的な取組みをしている人がいるということ言えば、全員がそうとはいかないでしょうが、そういう人もいることは大事だと思います。

部会長

その延長でお話しますと、先ほど豊中市の職員はスマートだと申しましたが、今回の評価でも真面目な部分が出ています。もっとアピール力のある評価を積極的にしていただくと私たちにも伝わってくるように思います。どこの市役所でもそうですが、目立ったらダメという概念があるように思います。ある部局が書くと、他の部局も「じゃあうちの内容も書いてほしい」となって、その結果内容が薄まってしまいます。ですので、代表的な出来事をまず取り上げるようにしていただきたいと思います。

全体を通して、昨年よりはわかりやすくなったと思いますが、まだまだ意見がたくさん出ましたので、意見集にまとめていただけたらと思います。

それでは、案件4「その他」について事務局から説明してください。

●案件4「その他」

事務局

次回の会議についてご説明いたします。本日の次第をご覧ください。本日、第一部会で見ただけ評価シートをすべて見ていただきましたので、次回は12月4日（金）18時～20時の第2回全体会、開催方法は本日と同じZoomによるWEB会議を予定しております。

部会長

何か最後に質問・意見はございませんか。

（特になし）

部会長

本日の案件については、すべて終了いたしました。これをもちまして、第1回豊中市総合計画審議会を閉会します。みなさん、お疲れさまでした。

以上